

つんとした冷たい空気に、ひんやりとした風。もう季節はすっかり冬ですね。11月は、お散歩に出かけることが増えて、保育者と手を繋いで公園まで歩いたり、道中の落ち葉に手を伸ばしてみたり、猫ちゃんを見つけたりと、思う存分楽しんだうみチームのお友だち♪初めて行く公園では「ここは？」と不思議そうにしていたが、何度も足を運ぶうちに、公園に着いたら「早く、お散歩カートから降りして～」とばかりに、手を伸ばして待ちきれない様子。砂場遊びだけでなく、すべり台にもチャレンジし、ひとりでできるようになったお友だちもいます！これから、もっともっと子どもたちの“やりたい！！”を楽しんでいけたらと思います。

お部屋では、絵本がお気に入り「読んで～！」と保育者のところまで持ってきて、動物の鳴きまねをしたり、食べ物が出てくるとお口を開けてモグモグしたり（笑）かわいい、うみチームさんです。

12月は、初めての発表会。お家の方を見つけて、泣いてしまうお友だちもいるかもしれませんが、お部屋での“いつもの楽しい”を見てもらえたら嬉しいです 🌸

**うみチーム 12月号** 

日に日に空気も冷たくなってきて、本格的な冬の訪れを感じますね。クリスマス、発表会、お正月休みと、イベント目白押しの12月、体調に気を付けて楽しみましょう！

お散歩に出かける事が多かった11月、今まで出かけていたお散歩先でも、落ち葉を踏みしめて、カサカサ鳴る音や感触を楽しんだり、秋の実を探したりと、この季節ならではの遊びを楽しみました（残念ながらどんぐり帽子ばかりで、実はほぼ見つけれませんでした 😞）

また、戸外に出ると、子どもたちがとっても活発に動くようになってきて驚いています！ 今までは抱き上げて乗せてもらっていたブランコに、自分でよじ登ってまたいで座れるようになったり、ふらつきながらも、足にぐっと力を入れて踏ん張りながら斜面を走ったり、鉄棒にぶらんとぶら下がってみたり、保育者の手もち、両足を上げてジャンプ！してみたり…。体を自分の思うように動かせる事を楽しんでくれている様子がうかがえます 😊 寒さに負けず、今月も元気に過ごしていこうね！

**だいちチーム 12月号**



## あめチーム 12月号

寒さも少しずつ厳しくなり、冬の訪れを感じる頃となりました。しかし日中はまだ暖かい日もあり、そんな時はジャンバーなしでスッキリとお散歩に出かけています。歩くことがとても上手になり体力もついてきて、この1ヶ月はいろんな場所に出かけました。体操教室・螢谷公園・伽藍山…初めての経験も沢山しましたよ。

螢谷公園では、広い芝生の上で思いっきりかけっこをしたり、簡単なルールのある遊びにも取り組み始めていて、シippo取りに挑戦してみました♪ふかふかの芝生の上だからこそ何回転んでも立ち上がり、思い切りシippoを追いかけてくれました(o^ー^o) 疲れたらちょっと休憩…芝生の上に寝そべって、雲を眺めたりして過ごしています。最近は、伽藍山も楽しいお散歩先です。薄暗い雰囲気には初めはドキドキしていた子ども達でしたが、手足を目一杯使って山の斜面を登って行くと、何だか楽しい! どんぐりや松の実を手一杯集めたり、下り道はお尻をついて落ち葉のすべり台をズリズリと滑ったり♪楽しかった~!! と大満足の子も達は、帰園してからのお着替えも早く、ご飯も沢山おかわりしてくれました♪

これからも子どもたちの楽しい! を探しながら過ごしていきますね♪

## にじチーム 12月号

今年も瞬く間に過ぎていき、あっという間に最後の月になりました。冷たい北風に負けず、子ども達は元気に遊んでいます！

さて、今月はたくさん戸外に出て遊びました。子ども達の大好きな鬼ごっこ。鬼は白帽子、タッチされたらお家に帰る、と視覚的にルールが分かるようにすると、十分に理解して楽しめています☺そして“増え鬼”という新たな鬼ごっこも始めてみました。タッチされたら鬼になっていく増え鬼。最初は普通の鬼ごっこと混乱しながらも、回数を重ねるとルールも分かり楽しむ様子が見られます。ルールを守る難しさやタッチされてしまう悔しさもあり、色々な感情と葛藤しつつも楽しく友だちと遊べるように関わっていきたいと思います。

そして11月半ばから急に寒くなり、上着を着て出掛ける事もあります。自分でファスナーをあげる事や、着ていた上着をハンガーに掛ける事が難しく、子ども達は困りながらも、すぐに保育者に手伝ってもらうのでは無く「やってみる！」と積極的に取り組んでくれています。やってみたら「できた！」という事も多く、それが自信に繋がっているようです。保護者の皆様も、お忙しい時間を除いて、お家でも子ども達が自分で出来るように見守ってもらえると嬉しいです。また、自分で着脱出来る上着を持ってきていただきますよう、よろしくお願い致します。

# そらチーム12月号



11月は『シルエット劇場』『三上山登山』と、バスに乗ってのお楽しみが続きました♪シルエット劇場では『すてきなさんにんぐみ』をはじめ、角笛の歌等シルエットを通して物語が進み、子ども達も大喜び(^\_^)♪中には少し怖かったお友だちもいたようですが、最後の『角笛の歌』では聞きなじみのある歌に体を揺らし、終わりの方には少し口ずさみ…歌の力ってすごいなあと感心しました(笑)

三上山登山では、春頃に登っていた伽藍山とは大きく異なり、大きな岩、急な坂道と少し険しい道のりでしたが、5歳児さんが淡々と登る姿を見て必死に追いかけて「がんばれー！」という応援を受けながら、無事に山頂までたどり着く事が出来ました！頂上ではラムネを食べて笑顔も復活☺️山頂から見える景色を見て、登り切った達成感をたくさん味わってくれたかなあと思います。下山後はお家の方特製おにぎり弁当で元気もチャージ！自分たちが登った大きな山を見つめて「あれに登ったんやなあ」「すごー！！」と、喜びがこみあげて笑顔を隠し切れない子どもたち。滅多にできない山登りの経験を存分に楽しんでもらえてよかったです♪また別のお山にも挑戦したいなあ～とっております！

# くじらチーム 12月号



園生活の中で触れることのできなかった、泥の感触を味わったり、普段当たり前のように口にしている物も、そこに至る間にたくさんの人の手が加わり、いくつもの工程を経て食卓に並んでいる事を、経験を通して知ってほしいとの願いを込めて始めた稲作りから8ヶ月。

思い返せば、元となる種もみを育てると同時に、土台となる黒土・赤土・鹿沼土を混ぜ合わせた土作りから始まり「大きくなってるか?」「〇〇ちゃんの葉っぱ大きくなって!」「何かの卵や!遊びに来はったんちゃう?」(←肥料です…)毎日観察していたからこそ、少しの変化にも気付き、仲間と共有した日々。「もう水無かったなあ…」「お米も喉乾いてはるんちゃう?」と、暑い中の日課となった水の調節。本には4回と書いてあったけど、保「何回目やったっけ?」子「2回目ちゃう?」「ちゃうで4回目やで!」「えーっ💧そんないっぱいやってへんで〜💧」必死すぎて回数を忘れてしまう事もあった中干し。稲が膨らみ重みで穂が垂れてくると、すぐに食べられると思いきや、脱穀・もみ取り・精米をしないとイケない事を知り、すりこぎとすり鉢、瓶に割ばしを手に取り組んだ最終段階。初めての取り組みだったので量的には少なかったのですが、白米を混ぜておいしくいただきました。

「お米って水やりしたら食べられると思ってた〜」  
「自分たちが育てたお米が食べられたっていう事は、平和っていう事やな!」一人ひとりが色々な事を感じた米作り。来年度、ぜひ親子でいかがですか?